



ペンネーム	さっちゃん
<b>【エピソードのタイトル】</b>  感動はこれから	
<b>【エピソードの内容】</b>  8年前に仕事で出逢った、下関に住むひとりの女性がいる。 大らかで明るくて思いやりのある人柄に惹きつけられ、すぐに仲良くなった。 仕事や恋の悩みを相談したりして、遠いのに近くにいるみたいで、いつも元気を分けてもらっていた。都会のゴミゴミした密集さや慌ただしさに疲れメールすると、『こっちにおいでっちゃ〜。ポーっと海でも一緒に眺めようや〜』というかわいい方言まじりの返信にいつも心癒されていた。  最後に会えたのが2006年の夏。お互いに忙しく行き来できないまま数年が経過。そんな時、シルバーウィークを利用した、ちょっと大胆な計画を思いつく。――東京からフェリーで徳島へ。そして自転車で四国横断、下関へと向かう計画だ。長距離自転車経験のない私は、家族の大反対も知らん顔で自転車を発注。しかし、お店の人の度重なるミスと兄の結婚相手の初顔合わせの食事会を組み込まれ、断念せざるを得ない事に…。 結局会うことが出来ず、日々の生活に戻ることになる。そんな中、この下関海響マラソンを発見！申し込み受付がはじまるのも本当に待ち遠しくて、日付が変わってすぐに申し込んだ。  給水ポイントのボランティアで参加していた彼女は、今年もボランティアをすることのこと。 制限時間内に完走できるか心配はあるけれど、給水ポイントでは必ずむっちゃんからお水を受け取って、絶対に完走するからね！  その後は、再会を祝して乾杯しようね♪	